

加西市「子ども消防・防災体験inうずらの」に参加しました!

12月3日、加西市女性団体連絡会と加西市赤十字奉仕団主催の「子ども消防・防災体験inうずらの」が開催され、兵庫県支部も参加し、救急法等の講習体験や、段ボールベッドなど防災の展示を行いました。加西市赤十字奉仕団の谷勝委員長は、「各種女性団体の資質向上と子育て家庭への支援を目的にこの防災イベントを開催します。みなさん、是非、実際にいろいろ体験してみてください。」と挨拶しました。兵庫県支部のブースでは、幼児安全法講習や三角巾の使い方について、参加者が熱心に取り組む様子が見られました。乳幼児の一次救命処置を体験した参加者からは、「なんとなく知っていたけれど、実際にやってみることによって正確な知識を身に付けることができた」との感想がありました。



挨拶する谷勝委員長

西播磨赤十字奉仕団研修大会が開催されました

12月11日、「西播磨赤十字奉仕団研修大会」が開催され、赤穂市赤十字奉仕団と赤穂市立赤穂中学校から26名が参加しました。

令和3年度の兵庫県支部の活動報告動画をご視聴いただいた後、避難所で役立つ段ボール活用法として段ボールトイレの作製に取り組みました。トイレは日常生活に欠かせないものですが、災害時において避難先のトイレが使えるとは限りません。みんなで協力して完成させた後、実際に段ボールトイレに座って強度を確かめる姿が見られました。

「きずの手当」の講習では、感染対策を考慮して、自分自身の膝や足首に手当を行いました。三角巾が思うように巻けず苦戦しながらも、周りの参加者と確かめ合いながら進めていきました。

災害の規模が大きくなると公的な支援が届くまでに時間がかかるため、まずは自身の命を守り、そして地域の人たちと助け合うことが大切になります。防災について改めて考える良い機会となったようです。



令和4年度救急法指導員養成講習を開催しました



11/19～20に実施した新任指導員研修会の様子



宗行指導員

藤田指導員

西嶋指導員

今年度の救急法指導員養成講習では、長期にわたる本講習や検定を経て、ボランティア・職員合わせて11名の指導員が誕生しました。兵庫県支部からも3名の職員が新たに指導員となりました。この11名は今後各地で開催される救急法講習や青少年赤十字加盟校での提供プログラム等で活躍する予定です。

対面式の講習の日程

| | |
|----------------------|--|
| 赤十字基礎講習(1日の講習) | 2月11日(土・祝)13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 2月23日(木・祝)13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 |
| 救急法救急員養成講習(2日間の講習) | 2月25日(土)・26日(日)9:30～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 |
| 幼児安全法支援員養成講習(2日間の講習) | 2月18日(土)・19日(日)9:30～17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 |

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

| 講習内容 | 開催日 | 時間 |
|-------------------|-----------------------|----------------------|
| ちょっと知ってみたい。認知症☆ | 【健康生活支援講習】地域で支える認知症 | 2月21日(火) 10:30～11:30 |
| みんなで学ぼう!応急手当 | 【救急法】きずの手当 | 2月21日(火) 14:00～15:00 |
| こどもにAEDって使えるの? | 【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置 | 2月28日(火) 10:30～11:30 |
| あなたは大切な人を救えますか? | 【救急法】一次救命処置 | 2月28日(火) 14:00～15:00 |
| 今、考えよう!自分の健康☆ | 【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして | 3月14日(火) 10:30～11:30 |
| 知っておきたい!急病・手当の基本☆ | 【救急法】急病の手当 | 3月14日(火) 14:00～15:00 |
| あなたは大切な人を救えますか? | 【救急法】一次救命処置 | 3月24日(金) 10:30～11:30 |
| こどもにAEDって使えるの? | 【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置 | 3月24日(金) 14:00～15:00 |

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。

企業や各種団体でも赤十字オンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認ください。お問い合わせは ☎0120-078-456 (振興課) まで

講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456 (振興課) まで

※隔月(奇数月)に発行しています。

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字1月号 [2023年1月1日発行]

ひょうごの赤十字+

2023

1

いのちと健康を守る活動にご協力感謝いたします。

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



令和5年 新春メッセージ

躍動する兵庫、新時代への挑戦

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和5年は「躍動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思います。



日本赤十字社兵庫県支部 支部長(兵庫県知事)

齋藤元彦

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの利活用や中小企業のCO₂排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大阪・関西万博が開催される2025年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ(起業家精神)教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願っています。

- 姫路赤十字看護専門学校戴帽式
- 姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ絵本等を贈呈
- 兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練に参加しました
- 姫路駅周辺・都市型災害対応訓練に参加しました
- 令和4年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催
- 加西市「子ども消防・防災体験inうずらの」に参加しました
- 西播磨赤十字奉仕団研修大会が開催されました



姫路赤十字看護専門学校戴帽式

10月31日、姫路赤十字看護専門学校第124回生の戴帽式が行われ、1年生45名が式に臨みました。『戴帽式』とは、看護師を目指すものとしての職業に対する意識を高めその責任の重さを自覚し、ナイチンゲールの精神を受け継ぐ一人となった証の儀式です。幻想的な雰囲気の中で、一人一人がナースキャップをいただき、ろうそくに灯をともした戴帽生代表が、「向上心と責任感を持って、知識と技術、感性を磨き続けます。患者さんに寄り添った看護師を目指して学びを深めることをここに誓います。」と力強く宣誓しました。看護師への決意を新たに、実習に励んでくれることを期待しています。



姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ、絵本等を寄贈



11月9日、姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ、大型絵本や文房具のセットが寄贈されました。これは姫路市赤十字奉仕団の子どもたちのための奉仕活動の一環で、岩田稔恵委員長(写真左から2人目)は「孫が入院した時に姫路赤十字病院に大変お世話になりました。その時にプレイルームでスタッフの方が子どもたちに本を読んであげたり、一緒にお絵かきしているのを見てからずっと気になっていて、今回このような形で実現できてうれしく思います。」と岡田病院長に手渡しました。岡田病院長は「地域で周産期を担う病院として責任を持っていますので、このような志は大変ありがたい。小児病棟のスタッフもとても喜ぶと思います。」と話しました。

兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練に参加しました

11月1日、兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練が行われ、日本赤十字社兵庫県支部(以下、兵庫県支部)も参加しました。関係法では一定基準以上の石油又は高圧ガスが集積している地域は「特別防災区域」として指定されますが、区域内の特定事業所として三菱重工高砂製作所が訓練会場となりました。「特別防災区域」には大量の石油、高圧ガス、その他危険物等が取り扱われているため、特殊災害に繋がる危険性を内在しており、ひとたび災害が発生した場合、大規模災害に拡大する恐れがあります。今回は局地地震が発生した想定のもと、工場内での傷病者発生、特定物質の漏洩、油流出等に対する現地指揮本部に特化した訓練となりました。兵庫県支部は警察、消防、海上保安庁等と本部を構成し、被災状況の収集、危険区域の設定、傷病者救助等の各場面での手順を確認しながら各機関と情報共有を図っていきました。その後の検証会では様々な状況を想定した準備の必要性、関係機関の連携強化の意見が多く出され、今回の課題は次回訓練に反映させることで一致しました。



姫路駅周辺・都市型災害対応訓練に参加しました

11月9日、JR姫路駅周辺にて令和4年度姫路駅周辺・都市型災害対応訓練が行われ、兵庫県支部と姫路赤十字病院が参加しました。この訓練は、大規模地震などの自然災害に加え、弾道ミサイル攻撃等の脅威も高まってきていることから、消防局、危機管理室、医療機関など関係団体がより良い相互関係を築き、初動対応能力の強化を図ることを目的に実施され、近隣の関係事業所も参加しました。大規模地震により広域的な被害が発生し、近隣で災害が同時多発しているという訓練想定のもと、姫路赤十字病院救護班は黄色(中等症)エリアを担当し、搬送されてくる傷病者の対応にあたりました。初めて救護訓練に参加したという姫路赤十字病院の山本放射線技師は「傷病者の様態把握と情報管理を担当した。いかにすばやく正確に情報共有できるかが大事だと思って訓練に臨んだが、次々と患者さんが搬送されてきて少し情報が混乱してしまったので今後の課題としたい。」と振り返りました。また、姫路赤十字病院の高橋主事は「実際に災害が起きたらこういった訓練なしに対応することはとても難しいと思うので、今日参加できて良かった。赤十字の救護員として今後も備えていきたい。」と話しました。



令和4年兵庫県赤十字有功章等贈呈式を開催

さわやかな秋晴れに恵まれた11月16日、兵庫県公館にて「令和4年兵庫県赤十字有功章等贈呈式」を開催しました。本式典では、日本赤十字社の活動のために多額の活動資金や奉仕活動、献血などで日頃からご協力いただいている方々に感謝の意を表し、日本赤十字社や国の表彰を贈呈(伝達)しており、併せて赤十字ポスターコンクール優秀作品の表彰と作品展示も行いました。式典では、齋藤支部長(兵庫県知事)の挨拶の後、壇上で31名の方々に表彰状や感謝状が授与され、壇上には上がられた皆さんは笑顔で感謝状等を受け取られていました。今回は、全部で530の個人、法人、団体が表彰を受けられました。式典終了後、受章された皆さんがそれぞれ楽しそうに記念撮影する様子が見られました。赤十字へのご支援・ご協力、本当にありがとうございます。

式典の様子



いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。